つながろう　憲法いかして平和な世界を！　2026憲法大集会

憲法守れの声大きく

世代を超えて5万人が参加

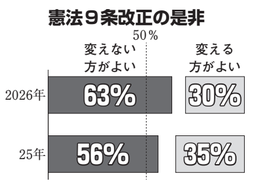
5月3日の憲法記念日、全国各地で憲法集会がとりくまれました。東京では「つながろう 憲法いかして平和な世界を！」をスローガンに掲げた憲法大集会（東京臨海広域防災公園）に5万人が参加。世代を超え、個性豊かなプラカードやのぼり旗がはためく集会になりました。

あらたなうねり

憲法大集会では、多彩な弁士がスピーチ。開会あいさつで憲法共同センター共同代表の秋山正臣さん（全労連議長）は、「過去にも改憲が狙われたが、それを許さなかったのは市民運動があったから。9条改憲を許さない一点で共闘をつよめ、改憲を阻止しよう」と呼びかけました。

吉岡忍さん（ノンフィクション作家、日本ペンクラブ前会長）は、「スパイ防止法」や「国家安全保障戦略」にある「国民に協力を義務づける」と憲法を基盤にした運動をよびかけました。伊藤真乃さん（コラボ代表）は、「反戦反性搾取」の巨大なフラッグとともに登場。「戦争と性搾取は表裏一体。国家が戦争に近づくとき、真っ先にないがしろにされるのが女性と子どもの人権です」と。新しい参加者へ、「勇気を出してくれてありがとう。世代を超えてつながり、新たなうねりを作りましょう。憲法の理念を実現するのは私たち一人ひとりです」と呼びかけました。

メインステージ
「女たちが集まれば変えられる」ミニステージに200人を超えて参加



（朝日新聞の世論調査より）

かつてない危機の下で

政党からは、立憲、共産、れいわ、社民、沖縄の風が、連帯のあいさつ。共産党の田村智子委員長は、国際法無視のトランプ政権に「戦争止めろ」となぜ言えないのか、自らの「台湾発言」で中国との関係を最悪にし、撤回もせず、危機をあおり、軍拡をあおっているのは自民党自身だ、と指摘すると会場から賛同の拍手が起こりました。

同日、改憲派の集会も都内で開かれ、自衛隊を9条に明記するなど改憲議論に高市首相はビデオメッセージで登場。「国会において決断のための議論を進めるとアピールし、自民と連立を組む維新の会のほか国民民主の代表も登壇。改憲へ前のめりな姿勢を示しました。

「SNSで見ました」と新婦人ブースに次つぎと

交流の場にも

「戦争反対」「高市政権は憲法を守れ」の声は、国会前と連帯し全国各地に広がっています。

5・3憲法大集会にも「じっとしていられない」と、初参加が多数訪れ、「憲法守れ」「戦争反対」をユーモアたっぷりにアピールしました。午前中からおこなわれた新婦人ブースや4つのミニステージ、9条署名が書けるテントには、多くの人が駆けつけました。新婦人「憲法手帳」と「あたらしい憲法のはなし」を手に写真を撮っていた2人組は、「高市さん戦争しそうでやばい。毎年憲法集会が開かれていたと知らなかった」と。

「戦争で金儲けすんなよ」とのパッチワークを肩にかけた女性は、「政治があんまりひどくて、一人でチクチクつくりました」と。「NO WAR」「PEACE」の字をくりぬいて花を生けたプラカードや、着ぐるみなど、手作りのアピールグッズやスローガンが飛びかいます。

韓国の戒厳令デモの際に登場した「架空団体」のぼり旗も各種登場。「ダイエットは明日からの会」「勝者じゃなく、敗者になろう会」。今月は4月18日号8面に掲載されていたピクニック弁当にとりくみました。

いつもは料理ができ上がると会場の公民館で食べていたのですが、今回はバックに詰めて近くの公園に行って食べました。

「権力者の暴走を止めるのが平和憲法　99条守れないなら議員なんて辞めちまえ」とプラカードで

「戦争で人を殺さない国にいるのが誇りだった。その9条を変えようとするなんて許せない」と。和装の帯にもメッセージが

「猫の安全な生活と健康を守る会」と、愛する猫の写真入りでつくった架空の団体のぼり旗を掲げて

「高市政権にはずっと怒っています」。吐き出したい思いを大小のカラフルなちょうちんに書いて。「声をあげる人を支えたい」の文字も

学元総長）が登場。（写真左上）

「女性の人権に声を上げる人に対する攻撃が高まっている状況と、改憲勢力の盛り上がりは無関係じゃない。憲法は、国民が政府を縛るためにある。政府が人権に反することをしようとするとき、常に声をあげなければ。改憲と女性の性搾取を許さないと言い続けましょう」とよびかけました。

田中優子さん（法政大学元総長）が登場。（写真左上）

「女性の人権に声を上げる人に対する攻撃が高まっている状況と、改憲勢力の盛り上がりは無関係じゃない。憲法は、国民が政府を縛るためにある。政府が人権に反することをしようとするとき、常に声をあげなければ。改憲と女性の性搾取を許さないと言い続けましょう」とよびかけました。

やなく勇者を目指すストリートの会」「戦争反対　うちら主権者」など、自由な新しい連帯の姿に感動。木陰ではレジャーシートを敷き、憲法の本を並べて読書したり、手づくりのプラカードを立てかけてお弁当を食べる「憲法ピクニック」も無数に登場しました。

ミニステージでは、「女たちが集まれば変えられる！めっちゃ楽しい未来をつくろう！」では、田中優子さん（法政大

ジェンダーリレー講座〈148〉

これからの家事労働④

元千葉大学教授　久保桂子

女性の地位向上で平等な家事分担を

厚生労働省は2019年に労働基準法を改正した際、長時間労働が健康の確保を困難にし、仕事と家庭生活の両立を困難にし、女性のキャリア形成を阻む原因になるとともに、男性の家庭参加を阻む原因にもなっていると指摘しました。長時間労働の是正をはじめ、女性がキャリア形成しやすい職場環境を整備することは、女性の職場での地位向上につながります。そして、仕事での男女の経済格差が解消されれば、男性の家事参加を促すことが可能になります。

現在、世界各国で女性の地位はどうなっているでしょうか。世界経済フォーラムが発表しているジェンダーギャップ指数で確認しましょう。表には世界148カ国から6カ国を取り上げ、順位と指数を示しました（指数は「1」に近いほど男女平等）。総合スコアとは経済、教育、健康、政治の4分野のスコアの平均で、第1位はアイスランド、日本は118位です。同一労働の賃金格差指数では、日本は0・603にすぎません。

アイスランドは本連載第1回で紹介したように、1975年に「女性の休日」というストライキが行われた国です。男女の賃金格差や家庭内の役割分担の不平等に抗議し、女性の90％が仕事や家事を一斉に休み、「女性がいなければ社会が動かない」ことを示しました。その後も継続的に行動を積み重ね、ジェンダー平等の法整備を進め、現在16年連続でジェンダーギャップ指数が世界1位です。

2025年のジェンダーギャップ指数（主なスコアの抜粋・本文参照）

国名	順位	総合	政治	経済	賃金
アイスランド	1	0.926	0.954	0.798	0.851
スウェーデン	6	0.817	0.488	0.818	0.736
米国	42	0.756	0.291	0.762	0.714
ブラジル	72	0.720	0.240	0.662	0.534
中国	103	0.686	0.135	0.726	0.729
日本	118	0.666	0.085	0.613	0.603

出所）世界経済フォーラム、Global Gender Gap Report 2025
注）賃金は「同一労働の賃金」で「経済」の中の1項目

アイスランドから学ぶことは、ジェンダー平等のための法律や制度の整備は社会全体で取り組む課題であり、不平等に抗議し、平等を求め続けるのが大切だということです。そうして、男女の賃金格差を解消し、男女の経済的地位を平等にすることならば、家庭での家事負担も平等にする条件は広がります。

……

くぼけいこ　お茶の水女子大学大学院修士課程修了。元千葉大学教授、元和洋女子大学特任教授。専門は生活経営学、家族社会学。著書は『共働きと男性の家事労働』（ドメス出版、2023）他。

【戦争の放棄、戦力の不保持・交戦権の否認】
憲法第九条　日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
②　前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

ホットライン

ホットラインの投稿は編集部メールアドレス　s-press@shinfujin.gr.jpへ

宮城　戦争やめよ、憲法守れ、昼宣伝

しんぶんも渡した▲宮城

【県本部　佐々木ゆきえ】4月17日、安保法制反対、9条の会などとの共同行動で「戦争やめよ！憲法守れ！」の昼宣伝に参加し、届いたばかりの新署名を集めました。

「戦争の危険を感じる。何かしなければとSNSを見てブラカード作ってきた」という人もいました。全体で35人が参加、署名は43人分、新婦人しんぶんも渡しました。

鳥取　『黒川の女たち』上映会に200人

【県本部　田村真弓】4月5日、鳥取県本部と鳥取支部で「黒川の女たち」上映実行委員会をつくって、上映会にとりくみ、200人が参加しました。当日は黒川の遺族会会長、藤井ご夫妻がこられ、質疑応答の時間を取ることができました。

黒川の遺族会会長を招いて▲鳥取

会員、読者の3分の1には来てもらおうとの目標を達成することができました。学習の場にもなったと思います。また一般の方も上映を待ちわびていたことがわかりました。「今度生まれた時は平和の国に」という被害女性の思いを次世代につなぐことが新婦人の役割と思いました。

群馬　小組合同体験会　2人が入会

みんな意欲的でした▲群馬

【藤岡支部みどり班　小野里正子】4月19日、地域センター神流にて、支部小組合同体験会を開き、会員26人、ゲスト4人が参加しました。今回は新聞ちぎり絵、くるみボタンブローチ、ちひろカレンダーバッグの体験。

みなさん、意欲満々で開始時間前からとりくんでいました。2人が入会、新しい班ができる話も。

愛知　人気の街道を歩こう会

【名古屋中支部たんぽぽ班　石原愛子】昨年3月、「まず東海道を歩こう」とスタートした小組です。

8人が名古屋市の熱田伝馬町に集まり、「宮の渡し公園」へ。常夜灯や旅人に時刻を伝える「時の鐘」は当時の様子を伝えています。東海道はここから京都まで江戸日本橋へ向かう東西の旅になります。おいしいランチや地域独特の菓子に出会えるのも楽しみの一つ。歩きたい人が増えて、今や18人のLINEグループに。何よりうれしいことにさざんか班に20代の方が入会しました。1月の支部大会で小組活動を発表。がんばってお江戸まで歩いていきたいです。

お江戸めざして▲愛知

徳島　カレンダーでちひろバッグ

【藍住支部オリーブ班　三好一子】4月1日、ちひろバッグを作りました。最近入会したOさんは、「いわさきちひろのカレンダーがバッグになると聞いた時は想像できず驚いたのですが、優しくわかりやすい指導で、和気あいあいと地域の話をしつつ作業を進め、すてきなバッグができました。子どもが想像以上のでき上がりに驚いていました」と。

班会で日本国憲法を読んで学び合っています。

憲法も学び合って▲徳島

石川　恒例のジャガイモ植え

【白山支部　鶴賀幸恵】4月4日、おとな9人、子ども3人の参加で、毎年恒例、農民連会長の畑でジャガイモ植えをしました。会員の娘さんとお孫さんが京都から金沢に帰省！雨の予報の合間をぬって、にぎやかにイモを植えました。子どもたち、初めての体験です。すきを持って、植えたジャガイモに土をかぶせた小学6年生の感想は「意外と重労働でした」。6月の収穫が楽しみです。

収穫が楽しみ▲石川

埼玉　ピクニック弁当作ったよ

【川越支部つばき班　千田有紀】5つの班合同の「おいしいヤサイの小学6年生の感想は「意外と重労働でした」。6月の収穫が楽しみです。

弁当持って公園へ▲埼玉

大分　班恒例の竹の子掘り

【大分支部アカシア班】4月18日、班恒例の竹の子掘りをしました。当日朝、突然の雨でしたが、掘りやすいところだけでも掘りたいという方もいて、結局全員参加でがんばりました。

全体的にものすごい斜面なので、1人の人は、滑って坂に沿って足が180度開く形になり、危なかったです。命がけの竹の子掘りでした（けがはなかったです）。5人で53本の収穫でした。

5人で53本！▲大分